

# 工学部 機能ロボティクス学科

## 機能ロボティクス学科におけるロボット教育

人が使いやすく、人を助け、人や環境に優しいロボットを作るためにはロボット工学に加えて、人間自身についての知識も必要です。そこで、機能ロボティクス学科では3つの専門分野を柱に実践的なカリキュラムで教育を行ってきました。



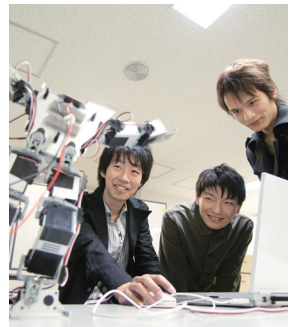
ロボット競技会



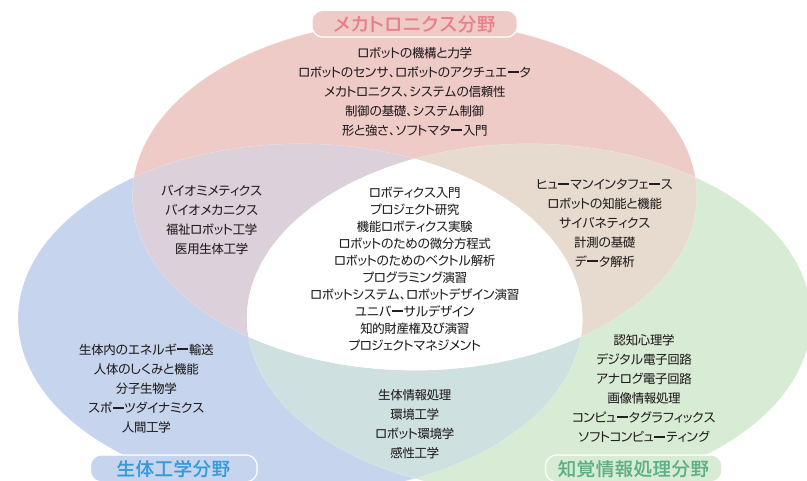
ロボットの観察



企業見学



実践型授業「プロジェクト研究」での作業風景と発表会



# 理工学部

## 重点をおいて学びたい分野の学科+副専攻でロボットを学ぶ

卒業研究は、各学科所属のロボット関連の研究室で!

実際にロボットを作ったり、  
ロボットを動かしたり  
したい人は、

### 機械工学科



ロボットを製作したり、  
動かしたり、構造や制御法  
などの研究をします。

- ロボット工学研究室
- ロボット制御研究室
- 群知能ロボット研究室



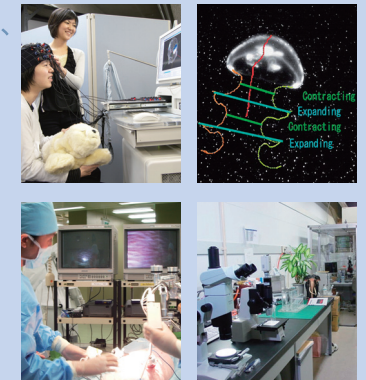
ロボットを  
医療福祉へ応用をしたい、  
生物の仕組みを  
ロボットに応用したい人は、

### 生体医工学科



生物の仕組みを解明したり、  
ロボットの医療応用を  
研究したりします。

- バイオメディカル研究室
- 生物機械研究室
- 手術支援ロボティクス研究室



ロボットの電気系統に重点をおきたい人は、

### 電気電子情報工学科

ロボットの目や耳であるセンサや、  
その情報処理について研究します。

(副専攻※)ロボティクスコースを選択

2009年4月より、  
ロボットを学ぶ  
チャンスが広がります。

自分の興味にあった  
学科を選択して  
重点的に基礎を学ぶ



1つの学科の  
カリキュラムだけでは  
足りない分野を  
副専攻システムで履修!

※副専攻: 複数学科にまたがって開講している副専攻指定科目を履修し、幅広い知識を得ることができます。副専攻科目に指定された科目を合計20単位以上取得すると、卒業時に所属学科卒業証書に加えて、副専攻修了の認定が得られます。